

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間とクローズド期間	信託期間は約6年9ヵ月程度（2018年7月27日～2025年4月18日） クローズド期間はありません。	
運用方針	この投資信託は、主に投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。）に投資を行うことを通じて、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	ルクセンブルグ籍建て外国投資法人「Robeco QI Global Dynamic Duration IBH JPY」投資証券	OECD加盟国が発行する債券もしくはOECD加盟国により保証された債券（短期債等を含みます。）に投資します。リターンの向上を目的として、国債先物取引等のデリバティブ取引を用いてポートフォリオのデュレーション調整を機動的に行います。
	証券投資信託「Shinseiショートターム・マザー・ファンド」受益証券	残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により安定した運用の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行うことにより流動性の確保を図ります。
投資制限	<p>①投資信託証券、短期社債等（「社債、株式等の振替に関する法律」（以下「社振法」といいます。）第66条第1号に規定する短期社債、同法第117条に規定する相互会社の社債、同法第118条に規定する特定社債および同法第120条に規定する特別法人債をいいます。）およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。</p> <p>②投資信託証券への投資割合に制限を設けません。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> <p>④外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>⑤外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。</p> <p>⑥同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>⑦一般社団法人投資信託協会の規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>	
分配方針	<p>毎決算期末に、原則として、以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益等の範囲で、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合、委託者の判断で分配を行わないことがあります。</p> <p>③収益分配に充てず信託財産内に留保した利益（無分配期の利益を含みます。）については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p>	

オリックス 世界国債ファンド  
(グローバル・ダイナミック・デュレーション)  
(為替ヘッジあり)

運用報告書（全体版）

第6期（決算日 2024年4月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「オリックス 世界国債ファンド(グローバル・ダイナミック・デュレーション) (為替ヘッジあり)」は、去る2024年4月22日に第6期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

**SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00～17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			債組入比率	債券 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		税分 込配	み 騰	期 騰落				
	円		円					百万円
2期(2020年4月20日)	10,369		200		0.0		98.3	1,641
3期(2021年4月20日)	9,988		34	△3.3	0.0		99.0	1,621
4期(2022年4月20日)	9,183		0	△8.1	0.0		99.2	1,480
5期(2023年4月20日)	8,275		0	△9.9	0.0		98.3	1,305
6期(2024年4月22日)	8,267		0	△0.1	0.0		98.9	1,253

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みで表示しています。

(注) 各組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 純資産総額は単位未満を切捨て、騰落率、各組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準 価額	基準価額			債組入比率	債券 組入比率	投資信託 組入比率
		騰落	騰落率	率			
(期首)	円			%			%
2023年4月20日	8,275			—	0.0		98.3
4月末	8,314			0.5	0.0		98.3
5月末	8,166			△1.3	0.0		98.5
6月末	8,241			△0.4	0.0		98.3
7月末	8,218			△0.7	0.0		98.4
8月末	8,165			△1.3	0.0		99.1
9月末	8,128			△1.8	0.0		98.7
10月末	8,089			△2.2	0.0		98.9
11月末	8,210			△0.8	0.0		98.9
12月末	8,509			2.8	0.0		98.1
2024年1月末	8,277			0.0	0.0		98.4
2月末	8,306			0.4	0.0		98.5
3月末	8,314			0.5	0.0		98.9
(期末)							
2024年4月22日	8,267			△0.1	0.0		98.9

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 騰落率は期首比で表示しています。

(注) 各組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 騰落率、各組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移



期 首：8,275円

期 末：8,267円 (既払分配金(課税前)：0円)

騰落率：△ 0.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年4月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。
- (注) 当ファンドは、特定のベンチマーク(運用成果の目標基準)や参考指数を設けておりません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当期における基準価額の主な変動要因は、以下の通りとなります。

当ファンドの基準価額に対するプラス要因

- ・2023年11月から12月に、インフレ率の鈍化基調などを受けて市場での利下げ期待が高まったことで、主要国の国債利回りが低下(価格は上昇)したこと

当ファンドの基準価額に対するマイナス要因

- ・2023年5月から10月に、主要国/地域におけるインフレ率の高止まりや好調な経済情勢を受けて金利の高止まりが意識されたことで、主要国の国債利回りが上昇(価格は下落)したこと
- ・2024年1月から2月に、堅調な経済指標などを背景に2024年の利下げ見通しが後退し、主要個億の国債利回りが上昇(価格は下落)したこと

当期首には、主要国の国債利回りは低下基調（価格は上昇）で始まりましたが、5月には、価格変動の大きい物品を除いたコアインフレ率が2022年のピークを上回った英国のほか、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官の発言や雇用市場の堅調さなどを受け、米国でも国債利回りが上昇（価格は下落）しました。日本とドイツの国債利回りは、5月には、月末比較で大きな変動はありませんでした。6月から10月も、インフレ率に鈍化の兆しが見られないことや経済情勢が堅調なことなどから、主要国の国債利回りは上昇基調（価格は下落）を続けました。特に9月には、ECB（欧州中央銀行）が10会合連続の利上げを決定したことや、米国での追加利上げの見通しや2024年中の利下げ回数の縮小見通しなどを受け、主要国の国債利回りは急上昇（価格は下落）しました。また、日本銀行が金融緩和政策を維持している日本では、国債利回りは相対的に落ち着いた動きとなっていました。日本銀行が7月にイールドカーブ・コントロールの柔軟化を決定したことで、日本の国債利回りは7月以降、上昇基調（価格は下落）に転じました。10月に日本銀行が10年国債利回りの上限を1%とする抑制を緩和するとしたことも、日本の国債利回り上昇に繋がりました。

11月には、主要国の国債利回りは低下（価格は上昇）に転じました。米国でもユーロ圏でもインフレ率が市場予想を下回り、市場では、FRBもECBも早ければ2024年春に利下げを実施するとの見方が始まりました。12月に入っても、主要国の国債利回りは低下基調（価格は上昇）を維持し、インフレ率は、主要国の中央銀行の目標水準を上回っているものの、世界的に鈍化基調を示したことに加え、FRBのパウエル議長が今回の利下げサイクルの終焉が近づいているとの見方を示したことなどから、市場では、米欧での政策金利の引下げに対する見方が継続しました。

2024年に入り、主要国の国債市場は、利回りが上昇基調（価格は下落）となりました。米国でもユーロ圏でも、GDP（国内総生産）成長率など市場予想よりも好調な経済指標が見られたことで、中央銀行による利下げに対する期待が後退し、米国やドイツ、日本の国債利回りの上昇に繋がりました。3月には、米国経済の成長鈍化を示す経済指標が見られたことや、スイスで利下げが実施されたことなどから、主要国の国債利回りは低下（価格は上昇）しましたが、4月に入り、国債利回りは世界的に上昇（価格は下落）する中で、当期末を迎えました。

### <日本短期金融市場>

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、日本銀行による断続的な買入オペの影響ならびに長短金利操作付き量的・質的金融緩和の影響もあり、期中のほとんどで0%を下回る水準で推移しましたが、3月半ばの日本銀行金融政策決定会合においてマイナス金利政策の解除が決定されて以降は0%以上に浮上することが増え、期末時点においては0.0102%程度の水準となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主として投資先ファンドであるルクセンブルグ籍外国投資信託「Robeco QI Global Dynamic Duration IBH JPY」投資証券への投資を通じて、中長期的な信託財産の成長をめざした運用を行いました。

投資先ファンドを高位で組入れる一方、「Shinseiショートターム・マザー・ファンド」を一部組入れた運用を行いました。

※以下、「Robeco QI Global Dynamic Duration IBH JPY」を「投資先ファンド」、「Shinseiショートターム・マザー・ファンド」を「マザーファンド」ということがあります。

### 投資先ファンド：Robeco QI Global Dynamic Duration IBH JPY

投資先ファンドのデュレーションポジションは、ロベコの独自の計量的デュレーションモデルに基づいています。

当期首から4月末にかけては、投資先ファンドにおいて、日本のデュレーションを長期化<sup>※1</sup>させていたことやドイツのデュレーションを当期首に中立に変更したことがプラス要因となりましたが、5月には、ほぼ市場並みのマイナスのパフォーマンスとなりました。米国とドイツのデュレーションは中立としていたことや、日本のデュレーションを月初から3週間程度にわたり長期化<sup>※1</sup>させていたことは、市場対比でみた投資先ファンドのパフォーマンスに特に大きな影響を及ぼしませんでした。6月には、投資先ファンドはマイナスのリターンとなりましたが、市場のパフォーマンスは上回りました。月初からドイツと米国のデュレーションを短期化<sup>※1</sup>させていたことや、現物債券で英国とドイツの短期部分のウェイトを引き下げていることが主なプラス要因となり、市場対比でのパフォーマンスにプラス寄与しました。

7月から9月には、投資先ファンドはマイナスのリターンとなりましたが、市場のパフォーマンスを上回りました。7月には、現物債券のポジションは、市場対比でほぼ中立的な影響に留まったものの、米国とドイツのデュレーションを短期化<sup>※1</sup>させていたことが奏功しました。8月には、米国と日本のデュレーションを短期化<sup>※1</sup>させていたことがプラス要因となったほか、現物債券のポジションも市場対比で僅かながらプラス寄与しました。現物債券では、オーストラリア国債のウェイトを高めていたことや日本の長期国債のウェイトを引き下げていることが奏功しました。9月には、主要国の国債利回りが急上昇（価格は下落）する中、米国やドイツ、日本など主要国のデュレーションを短期化<sup>※1</sup>させていたことで市場のパフォーマンスを上回りました。

10月には、投資先ファンドはマイナスのリターンとなりましたが、米国のデュレーションを短期化<sup>※1</sup>させていたことで市場のパフォーマンスを上回りました。現物債券のポジションでは、英国のウェイトを高めていたことや米国のウェイトを低めていたこと、日本では短期部分のウェイトを中心にしてきたことなどがプラス要因となりましたが、オーストラリアのウェイトを高めると共にドイツのウェイトを低めていたことで、全体では、市場対比でマイナス要因となりました。11月には、主要国の国債利回りが低下（価格は上昇）する中、投資先ファンドはプラスのリターンとなりましたが、市場のパフォーマンスを下回りました。ドイツのデュレーションを短期化<sup>※1</sup>させていたことで、ドイツの国債市場の上昇（利回りは低下）の恩恵を享受できませんでした。現物債券のポジシ

ンでは、日本の中期部分のウェイトを高めていたことやドイツ5年国債のウェイトを低くしていたことはプラス要因となりましたが、米国債券のウェイトを低めていたことが市場対比でマイナス要因となり、ほぼ相殺されました。12月には、投資先ファンドはプラスのリターン\*となっただけでなく、市場のパフォーマンスも上回りました。米国と日本のデュレーションを長期化<sup>\*1</sup>させたことに加え、現物債券で英国国債のウェイトを高めていたことや米国国債における残存期間のウェイト調整などが、投資先ファンドのパフォーマンスにプラス寄与しました。

2024年1月から2月には、投資先ファンドはマイナスのリターンとなりましたが、市場対比ではまちまちの動きとなりました。1月には、デュレーションを長期化<sup>\*1</sup>させていた米国と日本のポジションがマイナス要因となり、現物債券におけるオーストラリア国債のウェイトを高めていたことや日本国債で短期部分のウェイトを高めていたことなどによるプラス要因が相殺され、市場を下回るパフォーマンスとなりました。2月には、主にドイツと米国のデュレーションを短期化<sup>\*1</sup>させていたことで、市場のパフォーマンスを上回りました。現物債券のポジションも、ドイツ国債に比べて日本国債やオーストラリア国債のウェイトを高めていたことなどが奏功し、市場対比でみたパフォーマンスに僅かながらプラス寄与しました。3月には、投資先ファンドはプラスのリターンとなりましたが、市場のパフォーマンスを下回りました。主要国の国債利回りがやや低下（価格は上昇）する中、ドイツと米国のデュレーションを短期化<sup>\*1</sup>させていたことが、市場のパフォーマンスを下回る主な要因となりました。現物債券のポジションは、3月には投資先ファンドの市場対比パフォーマンスにほとんど影響しませんでした。当期末にかけては、主要国の国債利回りが上昇基調（価格は下落）する中、米国やドイツ、日本のデュレーションを短期化<sup>\*1</sup>させたポジションとしました。

※1：デュレーションとは、金利変動に対する債券価格の変動割合を理論的に示したもので、一般的に、デュレーションを長期化させると金利変動に対する価格変動が大きくなり、短期化させると金利変動に対する価格変動が小さくなります。

### 【参考】ロベコのデュレーションモデルにおけるファクター

経済成長	先進国ならびに新興国の株式市況の動向
金融政策	イールドカーブの傾きの変化
季節性	暦年の特定期における投資家のリスク選好度
トレンド	直近のグローバル債券市場のパフォーマンス
バリュエーション	対象国間でのイールドカーブの傾きの相对比较
インフレーション	商品市況の動向
低リスク株式	株式市場全体に対する低リスク株式の相対パフォーマンス

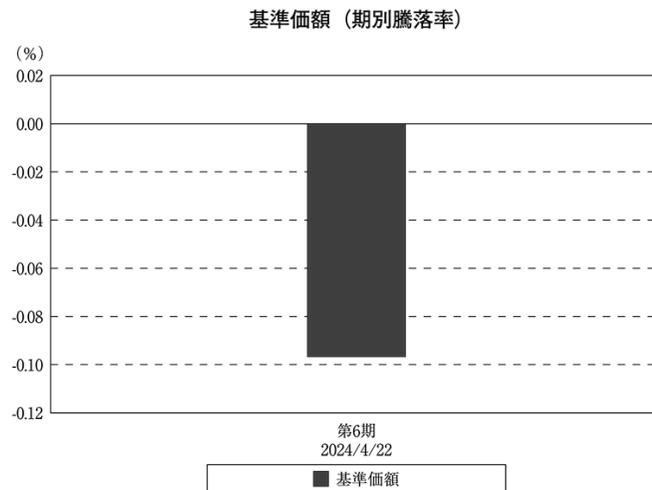
### Shinseiショートターム・マザー・ファンド

Shinseiショートターム・マザー・ファンドでは、主として国庫短期証券等を組み入れました。組み入れ期間の大部分において国庫短期証券等の利回りがマイナスとなったことから、当期の基準価額は小幅に下落しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、期中の期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（課税前）込みです。

## 分配金

収益分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準や市場動向等を勘案し、当期の収益分配は見送ることとしました。収益分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行いました。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第6期
	2023年4月21日～ 2024年4月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	328

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
- (注) 分配金は原則として決算日(原則、4月20日。当該日が休業日の場合は翌営業日)から起算して5営業日までに支払いを開始しております。
- (注) 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金(特別分配金)」にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。
- (注) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、引き続き、投資先ファンドを主要投資対象とし、Shinseiショートターム・マザー・ファンドを一部組入れ、安定したインカム収入の獲得と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

投資先ファンド：Robeco QI Global Dynamic Duration IBH JPY

投資滝ファンドにおいては、引き続き、国債等への投資に加え、ロベコのデュレーション・モデルが発するシグナルに基づき、日・米・独国債の利回り変動に対して金利リスク（デュレーション）を調整することで、世界の国債市場を上回る収益を目指した運用を行っていく予定です。

Shinseiショートターム・マザー・ファンド

世界的なインフレ圧力の高まりから昨年後半にかけて各国中央銀行は利上げを実施し、政策金利は高水準で維持されております。日本銀行は、物価上昇率（前年比）2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、金融緩和を継続していましたが、円安による輸入物価の上昇などを受けて国内の物価上昇率が高止まりする中、2024年3月の金融政策決定会合でマイナス金利政策の解除を決定し、市場では今後の政策に対する思惑も広がっていることから、長期ゾーンを中心に金利の変動が大きくなる局面も予想されます。引き続き当初の運用計画に基づき、国庫短期証券等に投資していく予定です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年4月21日～2024年4月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	47	0.564	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(18)	(0.221)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(26)	(0.310)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	13	0.154	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 4)	(0.053)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	( 8)	(0.100)	法定開示資料の印刷にかかる費用
合 計	60	0.718	
期中の平均基準価額は、8,244円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

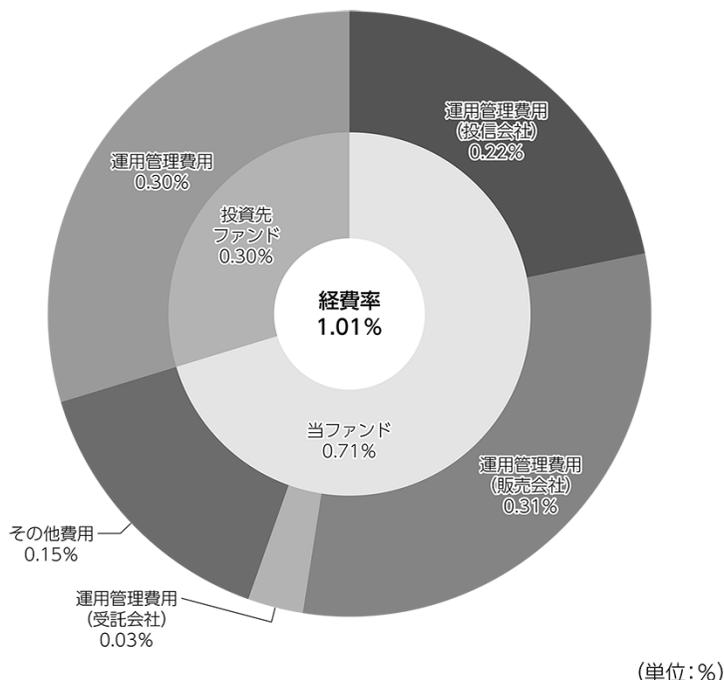
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.01%です。



経費率 (①+②)	1.01
①当ファンドの費用の比率	0.71
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.30

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年4月21日～2024年4月22日)

### 投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
(邦貨建) 外国	Robeco QI Global Dynamic Duration IBH JPY	口	千円	口	千円
		—	—	49,693,322	40,000

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未满是切捨てて表示しています。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期中における売買及び取引はありません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年4月21日～2024年4月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年4月22日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		口	口	千円	%
	Robeco QI Global Dynamic Duration IBH JPY	1,580,332,935	1,530,639,613	1,240,018	98.9
	合 計	1,580,332,935	1,530,639,613	1,240,018	98.9

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨てて表示しています。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

### 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
	Shinseiショートターム・マザー・ファンド	140	140	139

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨てて表示しています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2024年4月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	1,240,018	98.6
Shinseiショートターム・マザー・ファンド	139	0.0
コール・ローン等、その他	17,976	1.4
投資信託財産総額	1,258,133	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,258,133,514
コール・ローン等	17,975,726
投資証券(評価額)	1,240,018,600
Shinseiショートターム・マザー・ファンド(評価額)	139,188
(B) 負債	4,585,657
未払解約金	2
未払信託報酬	3,602,539
その他未払費用	983,116
(C) 純資産総額(A - B)	1,253,547,857
元本	1,516,235,929
次期繰越損益金	△ 262,688,072
(D) 受益権総口数	1,516,235,929口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,267円

(注) 当期運用報告書作成時点では監査未了です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1,577,521,710円、期中追加設定元本額は10,005,394円、期中一部解約元本額は71,291,175円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.8267円です。

○損益の状況 (2023年4月21日～2024年4月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	10,997,290
受取配当金	11,018,379
受取利息	80
支払利息	△ 21,169
(B) 有価証券売買損益	△ 2,912,045
売買益	438,754
売買損	△ 3,350,799
(C) 信託報酬等	△ 9,182,108
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 1,096,863
(E) 前期繰越損益金	△269,797,694
(F) 追加信託差損益金	8,206,485
(配当等相当額)	( 10,859,039)
(売買損益相当額)	(△ 2,652,554)
(G) 計(D + E + F)	△262,688,072
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	△262,688,072
追加信託差損益金	8,206,485
(配当等相当額)	( 10,859,039)
(売買損益相当額)	(△ 2,652,554)
分配準備積立金	38,985,292
繰越損益金	△309,879,849

(注) 当期運用報告書作成時点では監査未了です。

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,815,182円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(10,859,039円)および分配準備積立金(37,170,110円)より分配対象収益は49,844,331円(10,000口当たり328円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 投資先ファンドの概要

ファンド名	Robeco QI Global Dynamic Duration IBH JPY	
形態	ルクセンブルグ籍円建て外国投資法人（会社型投資信託）	
主な投資対象	<p>①OECD加盟国が発行する債券もしくはOECD加盟国により保証された債券※（短期債等を含みます。）に投資を行います。</p> <p>※主として大手格付機関においてA格以上の格付けが付与されている債券への投資を行います。BBB格の債券に投資を行うことがあります。</p> <p>②リターンの向上を目的として、国債先物取引等のデリバティブ取引を用いてポートフォリオのデュレーション調整を機動的に行います。</p> <p>③バリュエーション、テクニカル（季節性、トレンド）およびマクロ（経済成長、インフレ、金融政策）ファクターを組み合わせた独自のモデルを用いて運用を行います。</p> <p>④デリバティブ取引はヘッジ目的に限定されず、運用の効率を図るための手段として用いられます。</p> <p>⑤原則として、組入資産に対し対円で為替ヘッジ取引を行います。</p> <p>市況動向、資金動向その他の要因等によっては、上記のような運用が出来ない場合があります。</p>	
運用管理報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.30%が管理・投資運用等の対価として支払われます。</p> <p>※上記以外に、投資先ファンドの純資産総額に対して年率0.08%を上限として、管理事務代行報酬、監査報酬、法定書類作成費用等が別途投資先ファンドから支払われます。</p> <p>また、保管受託銀行報酬、組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料等についても別途投資先ファンドより支払われます。その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>	
その他	管理会社	Robeco Institutional Asset Management B.V.

保有有価証券

(2023年12月末現在)

	通貨	額面	時価評価額 (ユーロ)	構成比 (%)
公的な取引所への上場が認められた有価証券ならびに短期金融商品 債券				
<i>オーストラリア</i>				
Australia Government Bond, Reg. S 4.25% 21/04/2026	豪ドル	27,375,000	17,133,218	2.30
Australia Government Bond, Reg. S 2.25% 21/05/2028	豪ドル	15,372,000	8,972,869	1.20
Australia Government Bond, Reg. S 4.5% 21/04/2033	豪ドル	16,446,000	10,596,892	1.42
Australia Government Bond, Reg. S 2.75% 21/05/2041	豪ドル	1,657,000	836,086	0.11
			<u>37,539,065</u>	<u>5.03</u>
<i>ベルギー</i>				
Belgium Government Bond, Reg. S, 144A 1% 22/06/2031	ユーロ	5,048,000	4,560,325	0.61
Belgium Government Bond, Reg. S, 144A 1.9% 22/06/2038	ユーロ	6,106,000	5,389,537	0.72
			<u>9,949,862</u>	<u>1.33</u>
<i>カナダ</i>				
Canada Government Bond 1.5% 01/06/2026	カナダ・ドル	28,104,000	18,386,340	2.47
			<u>18,386,340</u>	<u>2.47</u>
<i>デンマーク</i>				
Denmark Government Bond 2.25% 15/11/2033	デンマーク・クローネ	15,966,000	2,140,864	0.29
			<u>2,140,864</u>	<u>0.29</u>
<i>フランス</i>				
France Government Bond OAT, Reg. S, 144A 1.25% 25/05/2036	ユーロ	9,471,000	8,013,914	1.07
France Government Bond OAT, Reg. S 0.5% 25/05/2025	ユーロ	10,339,000	10,032,464	1.35
France Government Bond OAT, Reg. S 5.5% 25/04/2029	ユーロ	1,589,000	1,841,962	0.25
France Government Bond OAT, Reg. S 1.5% 25/05/2031	ユーロ	4,813,000	4,543,917	0.61
France Government Bond OAT, Reg. S 4.5% 25/04/2041	ユーロ	8,628,000	10,522,743	1.41
France Government Bond OAT, Reg. S 3.25% 25/05/2045	ユーロ	4,718,000	4,924,506	0.66
			<u>39,879,506</u>	<u>5.35</u>
<i>ドイツ</i>				
Bundesschatzanweisungen, Reg. S 2.5% 13/03/2025	ユーロ	12,856,000	12,806,735	1.72
			<u>12,806,735</u>	<u>1.72</u>
<i>イタリア</i>				
Italy Buoni Poliennali Del Tesoro, Reg. S, 144A 2.45% 01/09/2033	ユーロ	5,582,000	5,067,382	0.68
Italy Buoni Poliennali Del Tesoro, Reg. S, 144A 4% 01/02/2037	ユーロ	4,657,000	4,714,505	0.63
Italy Buoni Poliennali Del Tesoro, Reg. S 5.25% 01/11/2029	ユーロ	16,220,000	18,068,841	2.42
Italy Buoni Poliennali Del Tesoro, Reg. S 0.95% 01/06/2032	ユーロ	13,003,000	10,649,175	1.43
			<u>38,499,903</u>	<u>5.16</u>
<i>日本</i>				
Japan Government Five Year Bond 0.005% 20/09/2026	日本円	2,471,000,000	15,850,569	2.13
Japan Government Five Year Bond 0.1% 20/03/2028	日本円	3,302,000,000	21,147,771	2.84
Japan Government Five Year Bond 0.2% 20/03/2028	日本円	1,534,000,000	9,865,873	1.32
Japan Government Ten Year Bond 0.1% 20/12/2029	日本円	4,940,000,000	31,426,258	4.21

	通貨	額面	時価評価額 (ユーロ)	構成比 (%)
Japan Government Ten Year Bond 0.1% 20/09/2031	日本円	3,034,000,000	18,972,540	2.54
Japan Government Ten Year Bond 0.1% 20/12/2031	日本円	2,292,000,000	14,291,167	1.92
Japan Government Thirty Year Bond 1.8% 20/09/2043	日本円	1,340,000,000	9,211,015	1.23
Japan Government Thirty Year Bond 1.7% 20/12/2043	日本円	1,403,000,000	9,491,495	1.27
Japan Government Thirty Year Bond 1.4% 20/03/2053	日本円	953,000,000	5,765,423	0.77
Japan Government Thirty Year Bond 1.2% 20/06/2053	日本円	1,317,000,000	7,569,927	1.01
Japan Government Thirty Year Bond 1.8% 20/09/2053	日本円	943,000,000	6,254,395	0.84
Japan Government Twenty Year Bond 1.3% 20/06/2035	日本円	1,962,000,000	13,340,528	1.79
Japan Government Twenty Year Bond 0.4% 20/03/2036	日本円	1,877,000,000	11,468,033	1.54
Japan Government Twenty Year Bond 0.6% 20/09/2037	日本円	1,048,000,000	6,403,721	0.86
Japan Government Twenty Year Bond 1.1% 20/03/2043	日本円	968,000,000	5,939,948	0.80
Japan Government Twenty Year Bond 1.1% 20/06/2043	日本円	1,779,000,000	10,886,249	1.46
Japan Government Twenty Year Bond 1.5% 20/09/2043	日本円	1,383,000,000	9,045,779	1.21
			<u>206,930,691</u>	<u>27.74</u>
<b>オランダ</b>				
Netherlands Government Bond, Reg. S, 144A 0.5% 15/07/2032	ユーロ	4,178,000	3,607,201	0.48
			<u>3,607,201</u>	<u>0.48</u>
<b>スペイン</b>				
Spain Bonos y Obligaciones del Estado 6% 31/01/2029	ユーロ	3,787,000	4,401,853	0.59
Spain Bonos y Obligaciones del Estado, Reg. S, 144A 0.5% 30/04/2030	ユーロ	2,775,000	2,430,484	0.33
Spain Bonos y Obligaciones del Estado, Reg. S, 144A 1.95% 30/07/2030	ユーロ	14,060,000	13,450,149	1.80
Spain Bonos y Obligaciones del Estado, Reg. S, 144A 5.15% 31/10/2044	ユーロ	4,575,000	5,697,147	0.76
Spain Government Bond, Reg. S, 144A 3.15% 30/04/2033	ユーロ	4,600,000	4,676,614	0.63
			<u>30,656,247</u>	<u>4.11</u>
<b>スウェーデン</b>				
Sweden Government Bond, Reg. S 2.5% 12/05/2025	スウェーデン・クローナ	121,030,000	10,815,368	1.45
			<u>10,815,368</u>	<u>1.45</u>
<b>英国</b>				
UK Treasury, Reg. S 1.5% 22/07/2026	英ポンド	16,608,000	18,226,579	2.44
UK Treasury, Reg. S 1% 31/01/2032	英ポンド	2,717,000	2,599,652	0.35
UK Treasury, Reg. S 0.625% 31/07/2035	英ポンド	15,835,000	12,999,592	1.74
UK Treasury, Reg. S 1.5% 22/07/2047	英ポンド	14,112,000	9,882,793	1.33
UK Treasury, Reg. S 1.5% 31/07/2053	英ポンド	12,930,000	8,322,336	1.12
			<u>52,030,952</u>	<u>6.98</u>
<b>米国</b>				
US Treasury 0.75% 30/04/2026	米ドル	8,881,000	7,439,817	1.00
US Treasury 0.75% 31/05/2026	米ドル	28,110,000	23,498,690	3.15
US Treasury 0.625% 31/07/2026	米ドル	27,903,000	23,142,121	3.10
US Treasury 2% 15/11/2026	米ドル	27,163,000	23,258,388	3.12
US Treasury 1.125% 28/02/2027	米ドル	27,122,000	22,498,214	3.02
US Treasury 0.5% 31/05/2027	米ドル	28,234,000	22,769,677	3.05
US Treasury 1.375% 31/10/2028	米ドル	7,283,000	5,874,500	0.79
US Treasury 3.875% 30/11/2029	米ドル	22,322,000	20,200,991	2.71

	通貨	額面	時価評価額 (ユーロ)	構成比 (%)
US Treasury 1.5% 15/02/2030	米ドル	12,876,000	10,170,018	1.36
US Treasury 0.625% 15/05/2030	米ドル	13,599,000	10,077,451	1.35
US Treasury 6.25% 15/05/2030	米ドル	6,855,000	7,016,190	0.94
US Treasury 2.75% 15/08/2032	米ドル	14,256,000	11,842,762	1.59
US Treasury 3.5% 15/02/2033	米ドル	9,595,000	8,440,358	1.13
US Treasury 5% 15/05/2037	米ドル	8,157,000	8,278,425	1.11
US Treasury 2.5% 15/02/2045	米ドル	25,177,000	17,318,233	2.32
US Treasury 2.5% 15/02/2046	米ドル	26,276,000	17,910,657	2.40
US Treasury 2.875% 15/05/2049	米ドル	15,247,000	11,018,326	1.48
US Treasury 2.25% 15/08/2049	米ドル	7,603,000	4,827,585	0.65
			<u>255,582,403</u>	<u>34.27</u>
債券合計			718,825,137	96.38
公的な取引所への上場が認められた有価証券ならびに短期金融商品の合計			<u>718,825,137</u>	<u>96.38</u>
その他規制市場で取引される有価証券ならびに短期金融商品 債券				
オーストラリア				
Australia Government Bond, Reg. S 2.75% 21/06/2035	豪ドル	14,503,000	7,929,890	1.06
			<u>7,929,890</u>	<u>1.06</u>
債券合計			7,929,890	1.06
その他規制市場で取引される有価証券ならびに短期金融商品の合計			<u>7,929,890</u>	<u>1.06</u>
保有有価証券			<u>726,755,027</u>	<u>97.44</u>
現金			<u>12,988,648</u>	<u>1.74</u>
その他資産／(負債)			<u>6,104,457</u>	<u>0.82</u>
純資産総額			<u>745,848,132</u>	<u>100.00</u>

2023年12月31日までの1年間

ユーロ

<b>当期中における純資産総額</b>	<b>1,045,010,335</b>
<b>収入</b>	
利息収入（源泉税徴収後）	17,229,961
有価証券貸付収入	108,603
銀行金利	889,225
<b>収入合計</b>	<b>18,227,789</b>
<b>費用</b>	
運用報酬	3,138,861
サービス報酬	1,314,062
税金等	297,985
銀行その他支払金利	107,564
<b>費用合計</b>	<b>4,858,472</b>
<b>純投資収益／（損失）</b>	<b>13,369,317</b>
純実現利益／（損失）：	
保有有価証券の売却	(90,460,305)
金融先物契約 為替先渡契約	24,038,227
為替取引	41,676,645
為替取引	862,806
<b>当期に係る実現利益（損失）</b>	<b>(23,882,627)</b>
未実現利益（損失）の変動：	
保有有価証券	78,932,589
金融先物契約	10,971,906
為替先渡契約	(13,839,955)
為替取引	140,928
<b>未実現利益（損失）</b>	<b>76,205,468</b>
<b>ファンド運営に係る結果としての純資産の増加（減少）</b>	<b>65,692,158</b>
取得	187,385,042
換金	(548,551,185)
<b>資本勘定の変動に係る純資産総額の増減</b>	<b>(361,166,143)</b>
分配金支払	(3,688,218)
<b>当期末における純資産総額</b>	<b>745,848,132</b>

# Shinseiショートターム・マザー・ファンド

## 運用報告書

### 第6期

決算日 2024年4月22日

(計算期間：2023年4月21日から2024年4月22日まで)

当マザーファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	安定運用と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券等を主要投資対象とします。
組入制限	<p>①株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り）を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>②外貨建て資産への投資は行いません。</p> <p>③有価証券先物取引等は、価格変動リスクを回避するために行うことができます。</p> <p>④スワップ取引は、価格変動リスクを回避するために行うことができます。</p> <p>⑤金利先渡取引は、価格変動リスクを回避するために行うことができます。</p> <p>⑥同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>⑦同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>⑧デリバティブ取引等（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、新株予約権証券、新投資口予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。）については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないこととします。</p> <p>⑨一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>

 **SBI Asset Management**

SBIAセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木 1-6-1

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
	円		%		%	百万円
2期(2020年4月20日)	9,977		△0.1		73.7	0.339232
3期(2021年4月20日)	9,969		△0.1		59.0	0.338949
4期(2022年4月20日)	9,962		△0.1		59.1	0.338711
5期(2023年4月20日)	9,953		△0.1		59.1	0.338399
6期(2024年4月22日)	9,942		△0.1		59.2	0.338019

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 騰落率、組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2023年4月20日	円		%		%
	9,953		—		59.1
4月末	9,953		0.0		59.1
5月末	9,952		△0.0		59.1
6月末	9,951		△0.0		59.1
7月末	9,950		△0.0		59.1
8月末	9,949		△0.0		59.1
9月末	9,949		△0.0		59.2
10月末	9,948		△0.1		59.1
11月末	9,947		△0.1		59.1
12月末	9,945		△0.1		59.2
2024年1月末	9,943		△0.1		59.2
2月末	9,942		△0.1		59.2
3月末	9,942		△0.1		59.2
(期 末) 2024年4月22日	9,942		△0.1		59.2

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 騰落率は期首比で表示しています。

(注) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 騰落率、組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

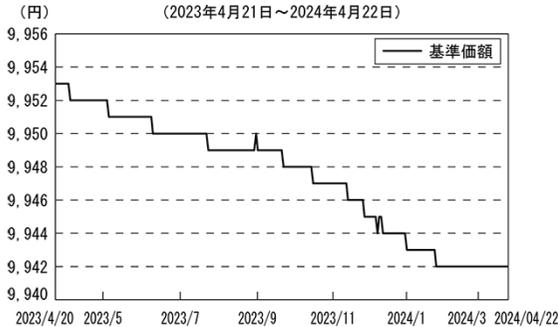
(注) 当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

## ○当期の運用経過

(2023年4月21日～2024年4月22日)

## 〔基準価額の推移〕

(2023年4月21日～2024年4月22日)



Shinseiショートターム・マザー・ファンドの基準価額は、当期首の9,953円から当期末には9,942円となりました。

## 【投資環境】

## ＜日本短期金融市場＞

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、日本銀行による断続的な買入オペの影響ならびに長短金利操作付き量的・質的金融緩和の影響もあり、期中のほとんどで0%を下回る水準で推移しましたが、3月半ばの日本銀行金融政策決定会合においてマイナス金利政策の解除が決定されて以降は0%以上に浮上することが増え、期末時点においては0.0102%程度の水準となりました。

## 【当ファンドのポートフォリオ】

Shinseiショートターム・マザー・ファンドでは、主として国庫短期証券等を組み入れました。組み入れ期間の大部分において国庫短期証券等の利回りがマイナスとなったことから、当期の基準価額は小幅に下落しました。

## 【今後の運用方針】

世界的なインフレ圧力の高まりから昨年後半にかけて各国中央銀行は利上げを実施し、政策金利は高水準で維持されております。日本銀行は、物価上昇率（前年比）2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、金融緩和を継続していましたが、円安による輸入物価の上昇などを受けて国内の物価上昇率が高止まりする中、2024年3月の金融政策決定会合でマイナス金利政策の解除を決定し、市場では今後の政策に対する思惑も広がっていることから、長期ゾーンを中心に金利の変動が大きくなる局面も予想されます。引き続き当初の運用計画に基づき、国庫短期証券等に投資していく予定です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年4月21日～2024年4月22日)

当期中に発生した費用はありません。

## ○売買及び取引の状況

(2023年4月21日～2024年4月22日)

### 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 800	千円 — (800)

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨てて表示しています。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年4月21日～2024年4月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年4月22日現在)

### 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 200 (200)	千円 199 (199)	% 59.2 (59.2)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 59.2 (59.2)
合 計	200 (200)	199 (199)	59.2 (59.2)	— (—)	— (—)	— (—)	59.2 (59.2)

(注) ( )内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 一印は組入なしです。

(注) 評価については価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 国内(邦貨建) 公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期		期 末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		%	千円	千円	
第1222回国庫短期証券		—	200	199	2024/7/8
合 計			200	199	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

## ○投資信託財産の構成

(2024年4月22日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	199	59.2
コール・ローン等、その他	139	40.8
投資信託財産総額	338	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	338,019
コール・ローン等	138,024
公社債(評価額)	199,995
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	338,019
元本	340,000
次期繰越損益金	△ 1,981
(D) 受益権総口数	340,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,942円

&lt;注記事項&gt;

期首元本額	340,000円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	0円
1口当たり純資産額	0.9942円

期末における元本の内訳

オリックス 世界国債ファンド(グローバル・ダイナミック・デュレーション)(為替ヘッジあり)	140,000円
オリックス 世界社債アクティブファンド(為替ヘッジあり)	110,000円
オリックス 先進国株式マーケット・プラス・ファンド	90,000円

## ○損益の状況

(2023年4月21日～2024年4月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 21
支払利息	△ 21
(B) 有価証券売買損益	△ 359
売買損	△ 359
(C) 当期損益金(A+B)	△ 380
(D) 前期繰越損益金	△1,601
(E) 計(C+D)	△1,981
次期繰越損益金(E)	△1,981

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。